積水化学工業株式会社
住宅カンパニー
www.sekisuiheim.com

本カタログ掲載の商品・部品・部材の色柄や色調などは、印刷のため実物とは多少異なる場合があります。
また改良を目的として、予告なく仕様などを変更する場合がありますので、ご了承ください。
本カタログの内容を、著作権法で認められる場合を除き、著作権者の承諾なしに無断で転載・複製等
（コピー、スキャン、WEB・SNSへのアップロード、動画内での活用等）することを禁じます。

加湿システムの
すべてがこの１冊に

永久保存版

使いはじめ、使いこなしに、
まずはこちらをご覧ください。

SEKISUI HEIM

加湿システム
START GUIDE BOOK

加湿システム　スタート・ガイドブック

この度は、「加湿システム」をご採用いただき

誠にありがとうございます。

これからも、皆様の健康で快適な暮らしが

末永くずっと続きますよう心よりお祈り申し上げます。

加湿システム START GUIDE BOOK

CONTENTS

加湿システムを知ってください …… 03

操作方法と注意事項 …… 05

加湿システムのお手入れ方法 …… 07

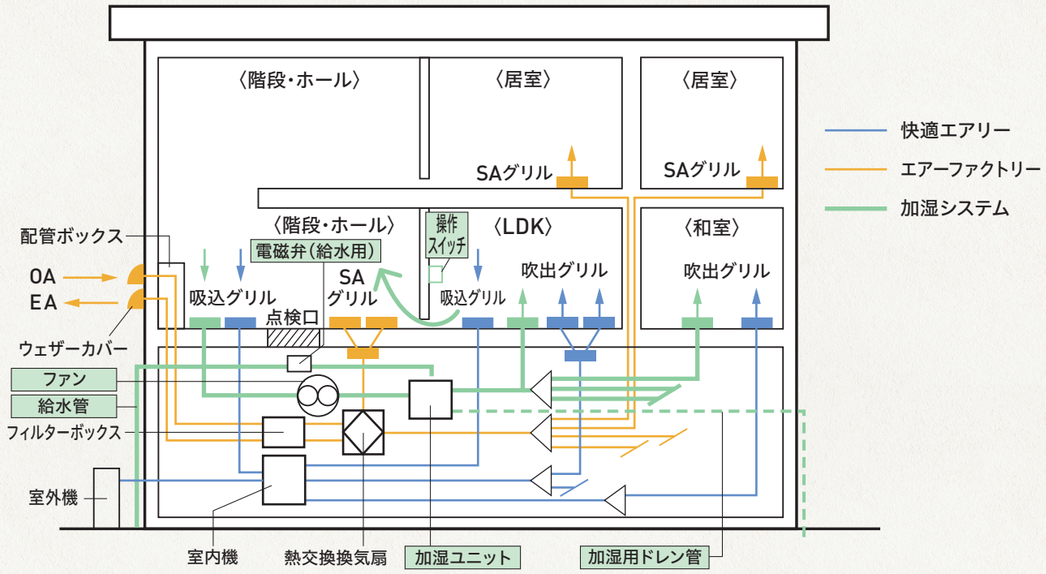
あなたの疑問にお答えします（Q&A） …… 09

加湿システムは、「美容」に、「健康」に、「湿度が気になる方」におすすめします。

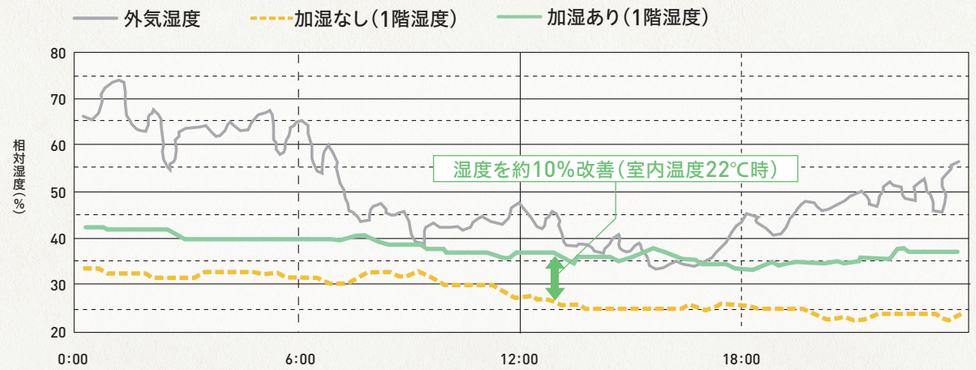
本システムは、ハイムで採用時、
快適エアリー・ウォームファクトリー（N含む）との併用が必要です。
※建築後の仕様追加はできません。

加湿機能を追加することで、室内相対湿度が約30～40%となります。
（約10%程度改善）

ハイムの場合（快適エアリー併用の場合）



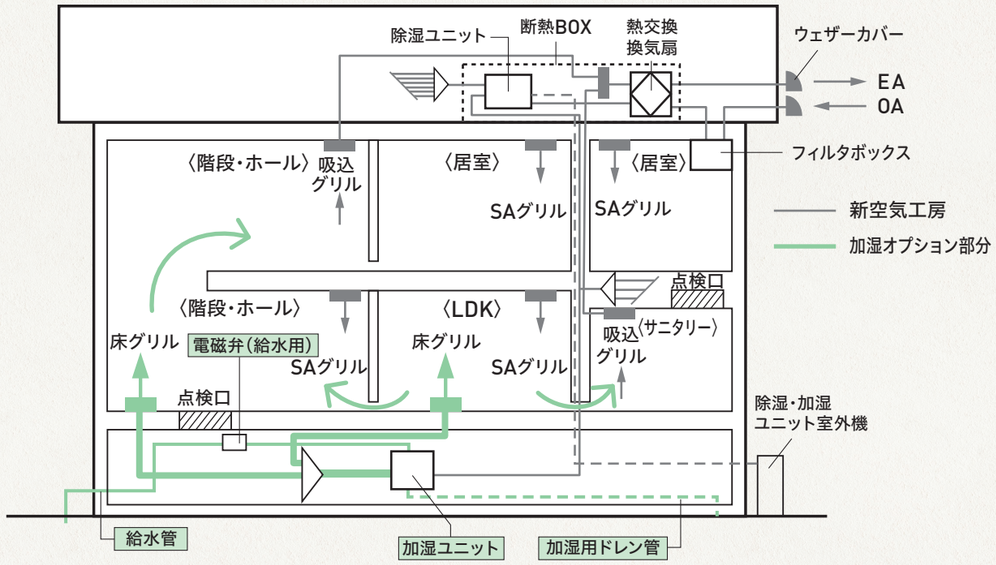
室内 相対湿度（加湿有無比較）



●加湿なし：24時間暖房（エアコン22℃設定）
●加湿あり：快適エアリー（ウォームファクトリー）を18～22℃を維持するよう運転

※上図は当社実測による一例。
※室内相対湿度は、外気条件、生活スケジュール等により異なります。

ツーユーの場合（新空気工房のオプション）



加湿ユニットのしくみ

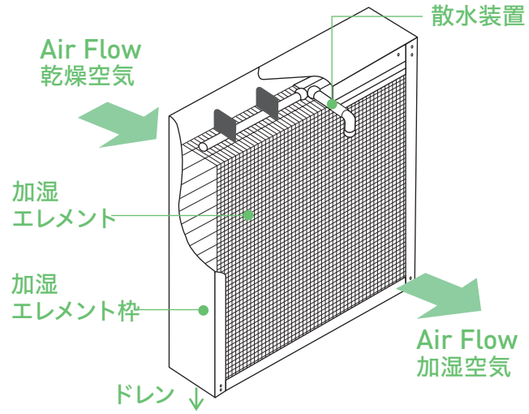
加湿エレメントに水を流すと湿潤状態となり、空気がエレメントを
通過する際に水分が加わり、加湿された空気となります。

機器仕様

●気化式加湿エレメント
材質：高分子複合材（難燃、抗菌・抗カビ処理）

●本体カバー
材質：ドレンパン（SUS 304）／
カバー（SUS 304）同等品
寸法：W327×D370×H280

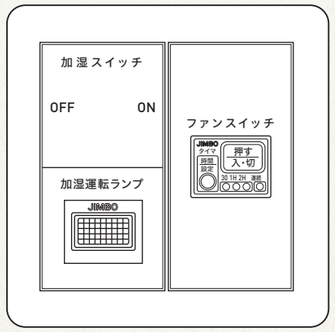
●電磁弁
加湿エレメントに送る給水量を制御。



スイッチを押すだけの簡単操作。あとは運転ランプにご注意ください。

操作方法

ハイムの場合

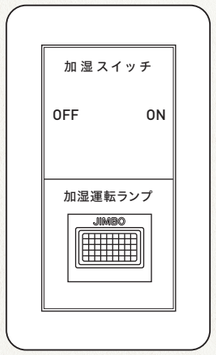


加湿スイッチ： 加湿ユニットへの給水用
ファンスイッチ： 送風用

- 加湿スイッチとファンスイッチを同時にONにすると、加湿運転を開始します。
- ファンスイッチは、入・切ボタンを押した後に時間設定ボタンで「連続」としてください。
- 加湿スイッチをOFFにすると、加湿運転は停止します。
- ファンスイッチについては、加湿スイッチOFF後加湿ユニット内のエレメントを乾燥させるため、時間設定ボタンで「1H」としてください。1時間後にファンは自動停止します。

注意 ※必ず2つのスイッチを同時に操作してください。一方がONで、一方がOFFといった使い方は行わないでください。

ツーユーの場合



加湿スイッチ： 加湿ユニットへの給水用

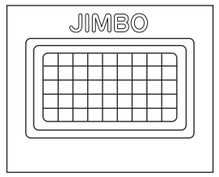
- 加湿スイッチをONにすると、加湿運転を開始します。

注意 ※その際、新空気工房換気扇スイッチがONになっていること、除湿加温ユニットが「加温」運転していることを必ず確認してください。

- 加湿スイッチをOFFにすると、加湿運転は停止します。

注意 ※その際、新空気工房換気扇スイッチをOFFにしないでください。
（新空気工房は24時間常時運転です。）

加湿運転ランプ

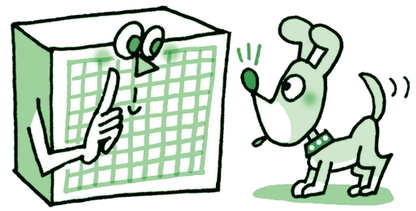


エラー表示

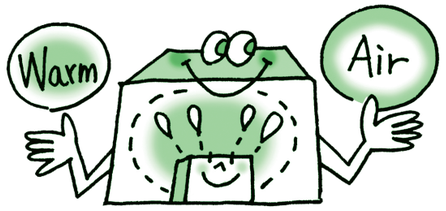
- 加湿スイッチがON状態で運転ランプが点灯している場合は、正常に運転していることを示します。
- 加湿スイッチがON状態で、運転ランプが消灯している場合は、加湿ユニット内の水を排水できないため、給水が非常停止または、電磁弁が故障したことを示します。その際には、スイッチをOFFにして、セキスイハイムグループにお問い合わせください。
※加湿スイッチOFF状態の場合は、運転ランプは消灯しています。

操作上の注意事項

01 加湿開始時には、加湿エレメントに付着した埃等により若干の臭いが発生する場合がありますが、しばらくすると水で洗い流され、臭いは無くなります。



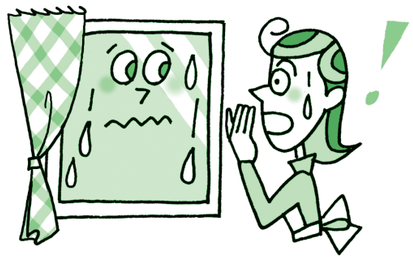
02 加湿運転開始時に、ハイムの場合は快適エアリー・ウォームファクトリーを、ツーユーの場合は、除湿加温ユニットの加温を必ず同時に運転を行ってください。
※運転停止時には“室内結露軽減のため”加湿運転はしないでください。



03 就寝の際は、室内の結露軽減のために運転を停止してください。

04 機器の特性上、急な湿度コントロールはできません。従って、快適な湿度環境を維持するためには、就寝時以外は連続運転をおすすめします。

05 室内結露が著しい場合には、運転を控えてください。



06 異常が発生した場合は、速やかに運転を停止し、セキスイハイムグループにお問合せください。

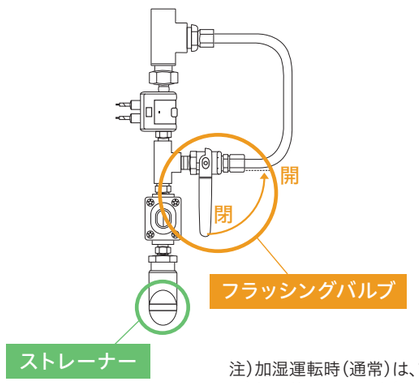
快適運転のため、お手入れ時期をしっかりお守りください。

お客様によるお手入れ

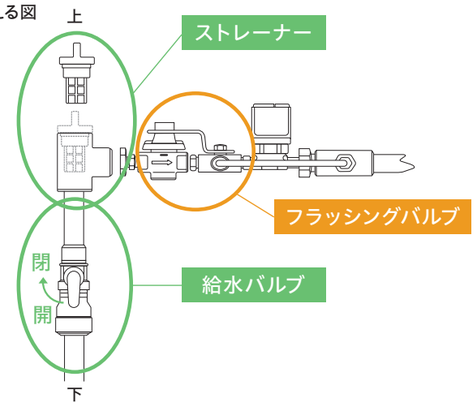
項　目	目　的	方　法	時　期
1 ストレーナー清掃	給水・目詰まり防止	ストレーナーキャップを取外して水洗いします。 注)ストレーナーキャップを取外す際は、必ず給水バルブを「閉」にして清掃後「開」に戻します。	運転開始時 冬になって使用を開始する時 年 1 回程度
2 フラッシングバルブ	エレメントの洗浄	フラッシングバルブを「開」にして、30 分程度おいた後、「閉」に戻します。 注)給水バルブは「開」の状態で行ってください。	

給水キットメンテナンス要領図

床下点検口を開けて
上から見える図



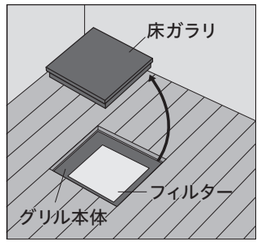
横から見える図



注)加湿運転時(通常)は、フラッシングバルブは「閉」、給水バルブは「開」状態にしてください。
注)加湿使用しない時(シーズン以外)はフラッシングバルブ、給水バルブとも「閉」の状態にしてください。

3 吸込グリル清掃(ハイムのみ)	風量低下防止	吸込グリルの床ガラリを外し、フィルターを取り出して掃除します。(掃除機で埃を吸い取ります。なお、汚れがひどい場合には、水洗いを行ってください。) グリル本体に汚れがある場合は、水拭きをしてください。	2 週間に 1 回程度 (加湿運転時)

01



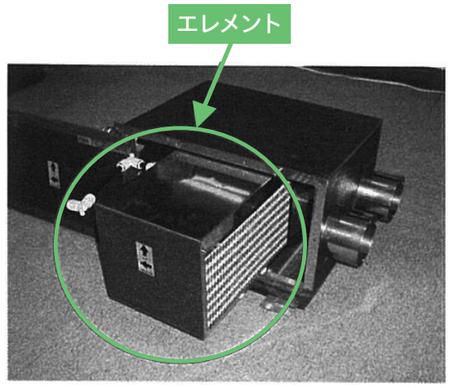
吹出・吸込グリルのカバーをはずします。グリルおよびグリルカバーに汚れがあるときは掃除をしてください。吸込グリルの場合は、フィルターを取り出します。

02

掃除機でフィルターのホコリを吸い取ります。汚れが気になる場合は、中性洗剤を溶かした水またはぬるま湯にフィルターを浸して押し洗いをし、日陰で良く乾かしてください。熱湯で洗ったり、もみ洗いはフィルターが縮んでしまうため、絶対にしないでください。また、濡れたままのフィルターを設置しないでください。1回 / 年交換をしてください。

4 吹出グリル	臭い・カビ発生防止	吹出グリルの床ガラリを外し、床グリル本体に汚れがある場合は、水拭きをしてください。	運転開始時及び運転停止時 (年 2 回程度)

当社アフターサービスによるお手入れ

項　目	目　的	方　法	時　期
加湿エレメント交換	エレメント効率低下防止及び衛生上による	 エレメントを取り出した状態 加湿ユニット内にあるエレメントの交換	5 年に 1 回程度

※上記メンテナンスは有償となります。

損傷およびケガの原因になります

- 床ガラリの上に重量物を置かないでください。床ガラリ網目部が割れる原因となります。
- テーブル、椅子の脚およびキャスターにて、ガラリを踏まないでください。また、重量物を持って床ガラリを踏まないでください。踏む恐れがある場合は、厚板等を敷いて作業をお願いします。
- 床ガラリに割れやヒビが発生した場合は、交換をしてください。ケガをする原因になります。交換については、セキスイハイムグループにご相談をお願いします。
- ガラリ本体および床ガラリに汚れがある場合は、柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい時は、水拭き、または40℃以下のぬるま湯で洗っていただき、水分が残らないように乾燥させてください。
- ガラリ本体や床ガラリが破損したり、強度が低下する原因となるため、ガラリ本体や床ガラリをお手入れ時に下記は行わないでください。

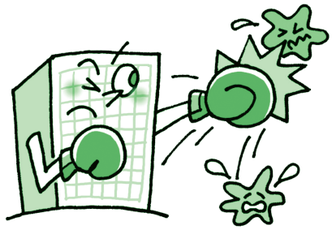
1. 熱湯で洗浄
2. 水やお湯に浸け置き
3. シンナー、ベンジン等の溶剤の使用
4. アルコール、酸・アルカリ性成分を含む洗剤・ウェットシート等の使用
5. 高圧洗浄機で洗浄
6. 床ガラリ等に傷がつく堅いブラシ等の使用

- 床にワックス掛けをする場合は、ガラリ本体や床ガラリにワックスを塗らないように、ガラリ本体や床ガラリを覆ってください。

Q & A

Q1 カビの発生は大丈夫ですか？

A 加湿エレメントには抗菌・抗カビ処理を施し、JIS規格の「抗菌性試験」・「抗カビ性試験」に合格、および食品衛生法にも適合した製品となっています。
また、カビ発生の促進試験および類似システムでの実態調査でも、約5年間有害なカビの発生は見られませんでした。上記試験結果により、加湿エレメントの交換時期（5年）を設定しています。



Q2 ランニングコストはどのくらいですか？

A 蒸気式加湿とは異なり、空気の流れで水分を蒸発させ加湿（気化式加湿）するため、以下に記載の金額を目安とお考えください。
- 上下水道代：約1400円／月
- 電気代：約600円／月（ハイムの場合のみ）

※上記金額は2021年5月時点、名古屋市の場合の試算。
お住まいの地域や、使用環境条件により異なります。

Q3 室内湿度が思ったより上がりませんが、故障でしょうか？

A 室内「温度」が高くないか確認してください。室内「温度」が高い場合は、「相対湿度」が低くなります。「湿度」を上げたい場合は、室内温度を上げ過ぎないようにしてください。
※（参考）加湿システムは、室内「温度」22℃時に「湿度」を約10%程度改善する仕様と しています。（P4参照）

Q4 加湿ユニットの水漏れは大丈夫ですか？

A 加湿ユニットで水漏れが発生する前に、漏水センサーが働き、給水を自動停止する仕様としています。

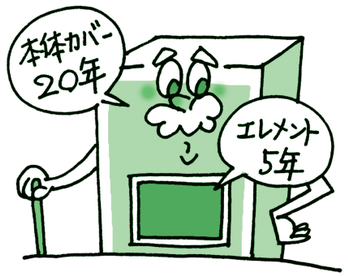
Q5 1日の運転で使用する水量はどのくらいですか？

A 本システムの給水量は、1分で0.1ℓです。従って、1日に16時間運転した場合は96ℓ（0.1ℓ×60分×16時間）の水を使用します。
なお、上記水量にてランニングコストを試算すると、1日当たりの上下水道代は、約50円程度となります。
※上記金額は2021年5月時点、名古屋市の場合の試算。
お住まいの地域や、使用環境条件により異なります。

Q6 湿度の調整は可能ですか？

A 本システム（気化式加湿）は蒸気式加湿と異なり、強制的に加湿をしない方式のため、湿度調整機能は設定していません。
なお、本システムは強制的な加湿方式のような過飽和状態（室内結露の要因）になりにくく、常時運転で適度な湿度が保たれます。

Q7 各機器の寿命はどのくらいですか？

A
- 加湿ユニット　本体カバー：約20年
　　エレメント ：約5年
- ダクトファン（ハイムの場合のみ）：約10年

注）上記期間は使用・環境条件により異なります。
なお、交換は有償となります。